

令和7年5月2日

部活動保護者会資料

調布市立調布中学校

校長 梶山 剛史

ごあいさつ

日頃から、本校の教育活動に御理解・御協力いただき、誠にありがとうございます。また、本日は御多用のところ部活動保護者会に御参会いただき、感謝申し上げます。

さて、学校の教育活動は、学習指導要領に示された「教育課程」と呼ばれる内容と学校が計画する「教育課程外」の内容で構成されています。学校が部活動を設置・運営することは、法令上の義務とはされていませんが、「教育課程外」で結果・実施されています。部活動は「教育課程外」の活動ではありますが、生徒にとって教育的意義のある大切な教育活動の一つであると考えています。部活動について、都教委は次のように示しています。

部活動とは、学校教育の一環として、教育課程との関連を図り、校長が認めた指導者（顧問）のもと、生徒の自主的、自発的な参加により、主に授業後や休日等に行われる課外活動である。部活動は学校が設置するものであることから、顧問と生徒が共に信頼し合い、共通の目標の下に、活動するものである。この部活動は、スポーツ・文化・科学・芸術等に興味・関心をもつ同好の生徒が、学級・学年を越えて組織し、一定のペースでスポーツに親しんだり、信頼できる友達を見付けたり、部員同士の切磋琢磨や自己の能力に応じてより高い水準の知識・技能や記録等を追究したりするなどの活動を通して、豊かな学校生活を自ら創造する活動である。
(東京都教育委員会)

この示された方針のもと、本校においても一生に一度しかない中学校生活をより豊かなものにするために、安全・安心を第一に教職員一丸となって取り組んでまいります。しかし一方で近年以下のような課題が重要視されています。

しかし、今日において、社会・経済の変化等により、教育等に関わる課題が複雑化・多様化し学校や教員だけでは解決することができない課題が増えている。部活動においても、従前と同様の運営体制では、維持は難しくなっており、学校や地域によって存続の危機にあり、部活動の在り方に関し、合理的でかつ効率的・効果的な活動の推進に向けた抜本的な改革に取り組む必要がある。(東京都教育委員会)

教員は「教科」で採用されており、定期的に異動があるため、全ての部活動の需要に対して、指導者を確保することが難しいという実態です。また、これらの課題を克服するために、令和5年度から国が示す部活動の地域移行・地域連携が始まっています。本校としては、生徒や保護者の皆様の期待に添えるよう最善を尽くしますが、現状の課題についても御理解・御協力いただきたいと考えています。

結びに、部活動を通して、本校の教育目標である「徳」「知」「体」を生徒がバランスよく身に付け、目指す学校像「皆の笑顔が輝く、活気と潤いのある学校～かわりを大切に～」のための教育活動を推進してまいります。

生徒の充実した学校生活のために、今年度1年間よろしくお願い申し上げます。